

平成30年（2018年）全国犬猫飼育実態調査 結果

犬：890万3千頭、猫：964万9千頭
犬・猫 推計飼育頭数全国合計は、1,855万2千頭

ペット飼育に関する高齢者の動向を考慮し、本年も調査対象者の年齢は「20～79歳」。時系列では2014年～2017年の過去5年間の調査結果により今回集計。猫の飼育頭数は横ばいであるが、犬の飼育頭数は減少傾向。昨年に続き今回の調査でも、猫の飼育頭数が犬の飼育頭数を上回った。

特に犬・猫共に「純血」が増え、「室内での飼育」が進んでいること、飼育阻害要因としては「お金がかかる」「集合住宅での禁止」があがるなど、『経済状態』や『住宅環境』が市場に与える影響は大きいと推測される。

ペットフードの事業者を中心とした85社（正会員56社、賛助会員29社）で組織する一般社団法人ペットフード協会【東京都千代田区、会長：石山恒】は、平成30年（2018年）全国犬猫飼育実態調査を行ない、この度その結果がまとまりました。主な結果は次の通りです。

1. 平成30年度 全国犬・猫 推計飼育頭数

全国の推計飼育頭数 犬：890万3千頭、猫：964万9千頭。

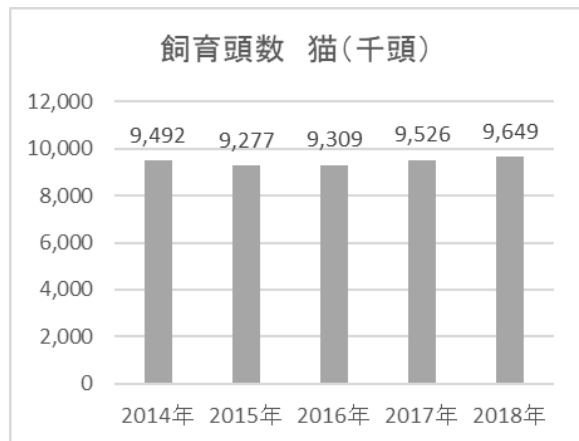
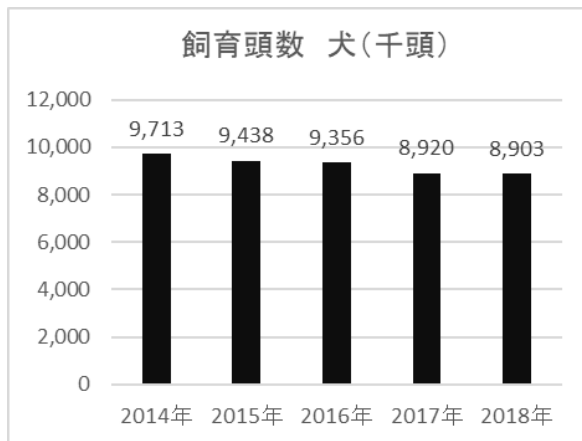
調査対象者の年齢を「20～79歳」として、2014年～2017年の過去5年間の調査結果により今回集計しました。

時系列でみると、猫の頭数は横ばい、犬の頭数は減少傾向にあり、昨年に続き今回の調査でも、猫の飼育頭数が犬の飼育頭数を上回りました。

また飼育率も世帯数の増加傾向が続く中で、猫は9%後半を維持し、犬は、減少傾向にあります。

	世帯数 (単位：千)	飼育世帯率	飼育世帯数 (単位：千)	平均飼育頭数	飼育頭数 (単位：千)
<犬>	56,614.0	12.64%	7,154	1.24	8,903
<猫>	56,614.0	9.78%	5,539	1.74	9,649

尚、猫の頭数調査結果には外猫の数は含まれておりません。



2. 平成30年 犬猫の年代別現在飼育状況

年代別での飼育状況をみると、5年前と比べ犬の飼育率はどの年代でも減少しており、最も飼育率の低下が顕著なのは50代でした。なお、20 - 60代の飼育率減少に比べ、70代の飼育率は維持されています。また、猫の飼育率は、5年前と比べてほぼ横ばいとなっています。

()は2014年比

	犬	猫
全体	12.6% (▲1.8%)	9.8% (0.0%)
20代	13.5% (▲0.8%)	9.0% (▲0.7%)
30代	11.7% (▲0.7%)	9.0% (0.0%)
40代	12.2% (▲1.7%)	10.8% (1.4%)
50代	14.5% (▲3.7%)	11.3% (▲0.3%)
60代	13.7% (▲2.8%)	10.4% (▲0.6%)
70代	10.0% (▲0.3%)	7.5% (▲0.1%)

3. 平成29年 犬猫の年代別今後の飼育意向

年代別での今後の飼育意向は、5年前と比べ犬の飼育意向がどの年代でも減少しており、最も飼育意向の低下が顕著なのは50代でした。なお、猫の飼育意向は、5年前と比べてほぼ横ばいとなっています。

飼育意向のある方々が、犬を飼育できるような環境の整備やサービスの向上が将来に向けての飼育頭数拡大に必要といえます。

()は2014年比

	犬	猫
全体	20.7% (▲2.9%)	15.8% (▲0.2%)
20代	24.1% (▲1.6%)	19.3% (0.1%)
30代	21.7% (▲1.7%)	17.1% (0.5%)
40代	21.1% (▲3.0%)	17.4% (0.6%)
50代	22.1% (▲5.9%)	17.2% (▲0.2%)
60代	20.2% (▲3.8%)	13.6% (▲0.2%)
70代	15.3% (▲0.8%)	10.6% (0.7%)

4. 平成30年 犬・猫平均寿命

犬全体の平均寿命は14.29歳、猫全体の平均寿命は15.32歳でした。犬は、超小型犬、小型犬の寿命が長く、また、猫の場合、「家の外に出ない」猫の平均寿命は15.97歳、「家の外に出る」猫の平均寿命は13.63歳と寿命に大きな差がありました。

5. 平成30年 今後ペットの飼育促進に向けて

今後ペットの飼育促進に向けて、現在、非飼育者で飼育意向のある方々の「阻害要因」、「飼育のきっかけ」への回答として挙げられた上位項目は以下の通りとなりました。(複数回答)

阻害要因 非飼育者&飼育意向あり__犬

1. 旅行など長期の外出がしづらくなる	25.9%
2. お金がかかる	24.3%
3. 集合住宅に住んでいて禁止されている	23.5%
4. 死ぬとかわいそう	21.8%
5. 別れが辛い	21.2%

阻害要因 非飼育者&飼育意向あり__猫

1. 集合住宅に住んでいて禁止されている	29.4%
2. お金がかかる	21.9%
3. 旅行など長期の外出がしづらくなる	21.7%
4. 別れが辛い	18.6%
5. 死ぬとかわいそう	18.1%

飼育理由__犬

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 生活に癒し・安らぎが欲しかったから | 33.5% |
| 2. 過去に飼育経験があり、また飼いたくなかったから | 31.5% |
| 3. 家族や夫婦のコミュニケーションに役立つと思ったから | 16.5% |

飼育理由__猫

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 生活に癒し・安らぎが欲しかったから | 31.5% |
| 2. 過去に飼育経験があり、また飼いたくなかったから | 28.2% |
| 3. 家族や夫婦のコミュニケーションに役立つと思ったから | 12.1% |

6. 平成30年 ペットフードのタイプ別利用率（複数回答）

犬猫共に市販のドライタイプのペットフードの利用が9割近くあり、ほとんどの飼育者が何らかの市販のペットフードを利用しています。

また、猫に「おやつ」をあげる人が増えてきています。

() は去年の数字

ペットフードのタイプ	犬	猫（外猫を除く）
市販のドライタイプ	84.7%（84.7%）	92.2%（92.5%）
市販のウェットタイプ	26.2%（25.1%）	49.6%（49.1%）
市販の半生タイプ	18.2%（17.5%）	15.0%（16.4%）
市販のおやつ	39.0%（36.3%）	38.2%（33.7%）
ペット用療法食	7.8%（7.3%）	10.7%（10.6%）
手作りのペット用食事	12.4%（12.5%）	4.0%（3.6%）
人間の食事の残り	7.0%（7.3%）	3.3%（3.5%）
その他	3.1%（3.5%）	2.2%（2.4%）

7. 平成30年 1ヶ月当たり支出総額

犬猫それぞれの支出総額は以下の通りです。() は去年の数字

犬に関する支出総額（医療費等含む） ￥10,368（￥10,818）

猫に関する支出総額（医療費等含む） ￥6,236（￥7,475）

以上